



キング牧師の動画生成停止 オープンAI「無礼」

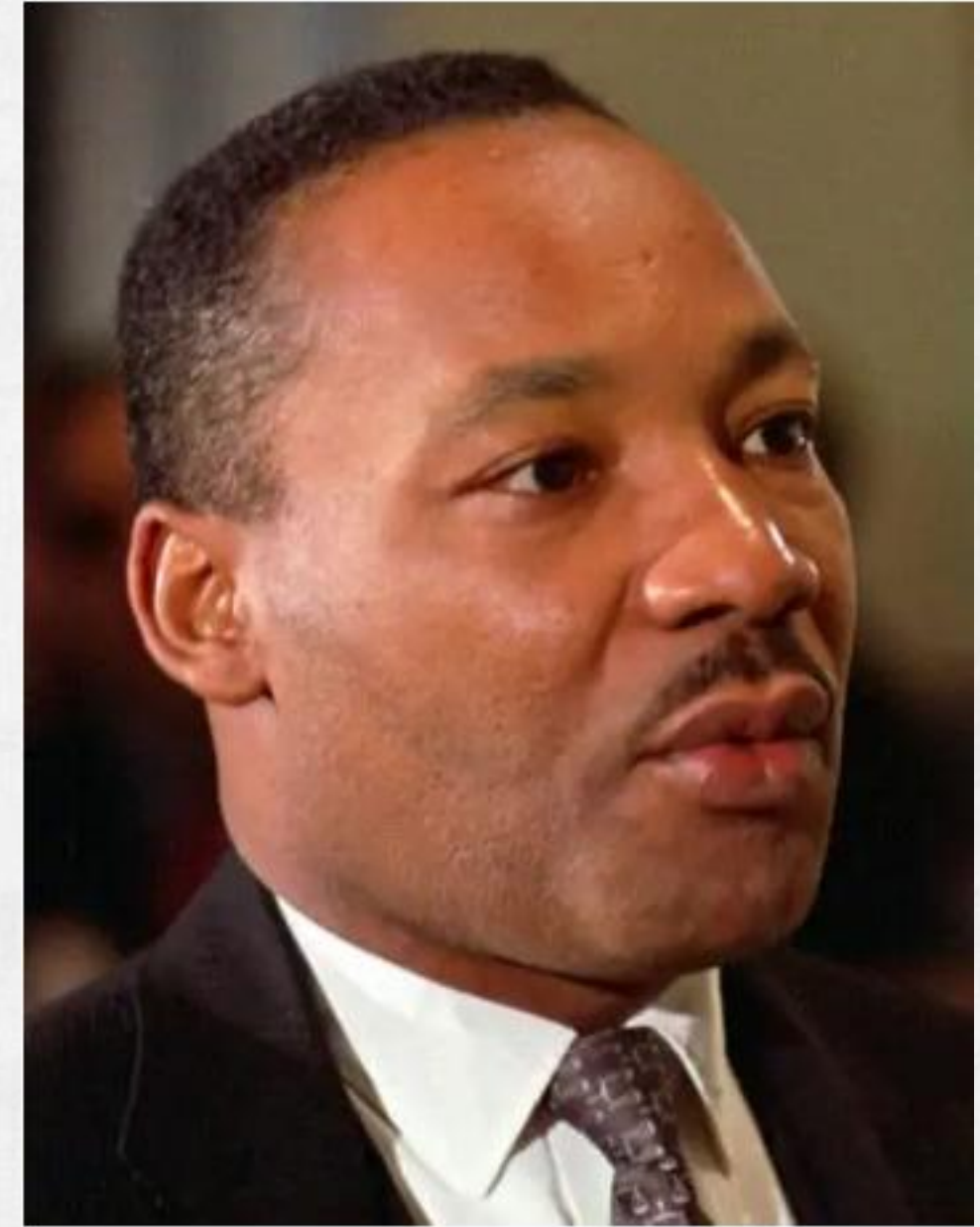
23161176

高橋 晴仁



キング牧師の 動画生成停止

- ・ 人工知能（AI）開発の米オープンAIは17日までに、動画生成AIサービス「Sora（ソラ）」に公民権運動指導者の故マーチン・ルーサー・キング牧師の題材を利用することを禁止した。



マーチン・ルーサー・キング牧師（AP＝共同）

内容

- ・一部の利用者が「無礼」な描写で生成された動画が問題視され、肖像権などを管理する団体が要請した。
- ・様々な記事を見た結果、動画の内容は「人種差別的で下品な言葉を使っている様子」、キング牧師に酷似した人物が食料品店で店員から支払いを求められ、有名な演説の一節を引用して「私にはこれらが無料になるという夢がある」と言って立ち去る動画などがあった。
- ・オープンAIは「歴史上の人物を描写することは表現の自由の観点から意義があるが、家族らが肖像の使われ方を管理するべきだ」と説明。著名人の家族や団体はソラによる肖像の使用を拒否できると述べた。
- ・ソラを巡っては著作権侵害などの批判も出ている。



コメント

- ・やはり、同時にAIによる生成であることを見抜く、あるいは証拠が残り続ける仕組みの組み合わせで、不適切・不正確・虚偽の内容であることが速やかに分かるコンテンツにしないと、情報やクリエイティブの民主化がディストピアにつながるか。
- ・最近、Soraを利用したフェイク動画があちこちでポップアップしてくるようになった。今はSoraの表示があるので、これはフェイクだと認識できるが、いずれSora表示が消えたフェイク動画が溢れてくる。何が事実でなにがフェイクか、判別できる教育が必要な時代だろう。
- ・AIの法的整備とともにモラルの醸成も急務になります。SNSとセットで公共の場として何をしたいのか、いけないのか、をコンセンサスとして共有していくことができるようにしていきたいです。



感想

- ・ 起こるだろうなということが実際に起きたという印象
- ・ モラルの形成も必要だが、法整備をしたところで同じことをする人は出てくるためイタチごっこになりかねない。
- ・ 昔の人は精巧な映像が残っているわけがなくフェイクと瞬時にわかるが、今を生きている著名人の方がダメージを受けやすいと感じた。